

立憲民主

RIKKEN MINSHU

新船長は 47歳

「困っている方々は常に現場におられる。その小さな声にしっかりと寄り添いながら、税や社会保障、格差是正を目指す。そして国民の側から日本の経済を元気にしていく」



新代表に泉健太衆院議員

■立憲民主党は11月30日、臨時党大会を開催し、泉健太衆院議員を新代表に選出しました。泉新代表はあいさつで、「国民のために働く政党として、日本の未来を明るくする政党として、おかしな政治は許さない。国民の目線で、国民中心の政治をしていく政党として、困っている方に寄り添い、皆さまのために働く「政策立案政党」として、これから全員の力で歩んでいきたい。ぜひともに立ち上がろう」と呼びかけました。

■新役員構成

- 代表……………泉健太
- 代表代行……………逢坂誠二
- 幹事長……………西村智奈美
- 常任幹事会議長……………牧山ひろえ
- 参議院議員会長……………水岡俊一
- 参議院幹事長……………森ゆうこ
- 参議院国会対策委員長……………難波奨二
- 参議院政策審議会議長……………川田龍平
- 選挙対策委員長……………大西健介
- 政務調査会長……………小川淳也
- 国会対策委員長……………馬淵澄夫
- 組織委員長……………吉川沙織
- 企業・団体交流委員長……………小宮山泰子
- つながる本部 本部長代行……………田名部匡代
- ジェンダー平等推進本部長……………徳永エリ
- ジェンダー平等推進本部長代行……………岡本あき子
- 両院議員総会長……………阿部知子
- ※ 役員室長……………後藤祐一

● 執行役員会構成役員

※ 執行役員会 陪席

■立憲民主党は12月6日に両院議員総会で役員人事を承認。泉健太代表は、党代表選挙で述べた「執行役員を男女同数にする」という公約を達成しました。

男女同数の執行役員



わたしたちは立憲民主党です

「政策立案政党」をアピール

17政策を提案し、論戦に挑む

泉健太代表は12月8日の衆院本会議で岸田総理の所信表明演説に対する代表質問を行い、冒頭、「現在47歳。就職氷河期世代として、気候変動世代として、日本の将来を明るくしていきたい。その思いで立ち上がりました」と決意を表明しました。

立憲民主党について、『国民に寄り添う』『地域に寄り添う』『公助が発揮される政府』さらに『分権・分散型』『自由』『多様性』を掲げる政党であると宣言。その立場から国会では、行政政治を監視し是正していくとともに、課題解決の具体策を提案していく「政策立案政党」であると表明し、17項目に及ぶ政策を提案。

18歳以下への10万円給付に関しては、「わざわざ半分現金、半分クーポンの配布になると、経費は膨らみ、市町村職員の手間も非常にかかり、重要な3度目のワクチン接種業務と時期も重なる」と指摘。

その上で「18歳以下への10万円給付は、市町村は自らの判断でクーポンではなく現金給付を選択できるようにしませんか」「そして10万円一括支給も認めてはどうですか」と提案しました。

また、立憲民主党の指摘で明らかになったクーポンへの分割支給で967億円もの事務費がかかる問題に関しては、「クーポンの事務費分を、生活困窮者向けの給付に上乗せしませんか」「ワーキングプア層へ支給対象を広げませんか」と政策転換を求めました。

この他、泉代表は、新型コロナに対する水際対策や経済支援策、エネルギー政策、働き方、中小企業支援、農業政策、憲法の問題などについて質問しました。



党ウェブサイトの記事は
こちらでご覧いただけます

「理不尽を許さない」「多様性を力に」の思いを込めて質問

泉代表に続き、西村智奈美幹事長が登壇。岸田総理が掲げる「新しい資本主義」について、「私たちが主張してきた分配重視の政策へと舵を切るのではないかと期待をした」と述べる一方で、具体策が全く見えないことに加え、

格差と差別を生んできた自己責任、競争至上主義、いわゆる新自由主義の構造そのものにメスを入れようとしていないと指摘しました。

西村幹事長は、①新型コロナウイルス対策②医療政策③経済政策④子ども・子育て⑤入管の人権侵害の問題⑥社会の多様性⑦外交・安全保障——等について取り上げ、岸田総理の見解をたどりました。



党ウェブサイトの記事は
こちらでご覧いただけます